

令和2年11月



新型コロナウイルス感染症対策学生支援募金へのご支援のお願い
—学生たちが充実した大学生活が続けられるようご支援と協力をお願い致します—

日本赤十字九州国際看護大学
学長 小松 浩子

ご関係の皆様におかれましては、このたびの新型コロナウイルス感染症に関しまして、感染への不安な日々が続く中、感染拡大防止のためのご努力を重ねておられることと存じます。

ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症は、経済社会にも深刻なダメージを与えております。本学の学生も、家計支持者の収入減少により学費納入が困難となったり、アルバイト収入がなくなり生活が困窮したりと、学生生活に大きな影響が出ております。

本学では、感染防止と安全確保の観点から、5月からオンライン授業に切り替え、学事暦で予定していた対面による講義や演習、臨地実習等について従来の形を見直しており、在宅学習に伴う通信環境の整備により、学生に経済的負担が生じております。

このような現状に対しては、国の学生支援緊急給付金や日本学生支援機構の奨学金の拡大など公的な支援策が講じられておりますが、支援の要件に該当しない学生も多く、本学では、自己資金をもって学部生・大学院生に学生支援給付金（前期分）を1名につき一律1万円給付させていただきました。

今後のさらなる経済支援は、本学の自己資金をもって対応していくことが当然であります。すべての学生が安心して学業に励むことができるよう、後期においてもできる限りの支援を行いたいと考えております。

つきましては、学内教職員や同窓生、また日頃より本学にご縁をいただいている皆様に広くご支援をお願いすることといたしました。皆様におかれましても、新型コロナウイルス感染症の影響で出費多端な時期と存じますが、明日の医療・看護を担う学生たちに、少しでもお力添えをいただければ幸甚に存じます。未来を支える若者のため、ぜひご賛同くださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の健康と安全、そして安心して平常の生活ができる日が来ることを祈念いたしております。